

次世代燃料の安定供給促進事業説明会における質問と回答

| No | 質問 | 回答 |
|----|---|--|
| 1 | 複数の企業が採択されるのか、1つの企業に限り採択されるのか。 | <p>36億円の予算は、次世代燃料は、設備の投資をやるにあつて、ものをつくらないといけないので1年に完成するとは思っていない。これから基本設計、詳細設計、調達をしてから実際の工事なので、3年4年かかってくる。今年度はそれほど進まず建設段階に入っていないと思っている。基本設計業務、もっと進んでも詳細設計に至るまで行っていないので、36億円でも使い切れな思っている。次年度以降建設をすると、たくさんのお金がかかる。</p> <p>元々はSAF事業もここに入っていて、2030年度までに完成させるということになっていて、SAF事業は基本設計から建設事業に入るのでGX移行債で基本的にやることになっていて、これとは除いている。</p> |
| 2 | 技術実証とかFS検証をするにあたり、エンジニア会社に依頼をすると思う。その際は外注費がメインの割合を占める支払い構成となった場合は特段問題ないのか。 | 問題ありません。 |
| 3 | 複数年度にわたるといふときに、向こう何年までという見通しはあるのか。長期にわたり、建設や実証をするにあたり、複数年掛かるといふが、年度をまたぐことになる。 | <p>決まっていなところもあるが、e-fuel事業は、最初のFS検討はこの予算でやり、実際に建設をする時に、単年度では建設はできないので、SAFのように多年度の予算をとってこないと補助金もないのでできない。例えば、検討が今年度に進んで、工程がはっきりして、来年度か、2028年度から建設工事をするといふのでこれだけお金がかかるといふのが見えてきたら、GX移行債でお金をとって別事業としてやることになると思ふ。</p> |
| 4 | 〃 | <p>e-fuelとか、バイオ燃料について、あまり詳しくないが、環境省等色んなところに近い予算があつて、両方に出すことができないので注意してほしい。技術実証と書いているのは、技術研究になってくると、この予算の申請にそぐわない。研究はNEDO事業に近く、固まった技術のFS検討をするのがこの事業だと思つてもらつた方が間違いがない。他事業との関係でこれはどうかといふのがあれば相談していきたい。</p> |

| No | 質問 | 回答 |
|----|--|---|
| 5 | 〃 | この予算は令和6年度予算なので、令和7年2月末に終了して、令和7年3月までに実績報告書を出していただくことになる。これで一回打ち切るので、FSでも検討業務でも、来年度の令和7年度に跨る場合は、一旦切っていただいて、令和6年度の内容を終わらせて、次年度にまた続きの事業を申請をしていただくことになると思う。 |
| 6 | バイオ燃料についての公募だが、連産品として、ケミカルとかがいろんなものができる。燃料なのかケミカルなのか、それはどういう作りか、薬なのかガソリンかになる。バイオ燃料は、燃料もたくさんできるとか、ケミカルとどちらがたくさんできるというのは問題はないのか。 | 大きく言うと、今回の公募事業は、まず次世代燃料に関しては、対象事業者を石油会社に限っていない。極端なことをいえば、燃料を扱っていない人でなくとも、応募してきて良い。化学系の人が、燃料の販売をするのではなく、バイオで燃料をつくるというのではなく、非化石の燃料をつくる。例えば、ガソリン等にならなくとも、メタノール、エタノールをつくって持っていくのも対象にしようとしている。 |
| 7 | 技術審査委員会があると思うが、そちらは、提案書wordベースで説明することになるのか、プレゼン資料で説明するのか。 | 基本はパワポのプレゼン資料でということにしたいとは思っている。 |
| 8 | プレゼン資料についてはひな形があるのか。 | 基本は自由な様式で構わない。実施計画書の内容をwordで書いて出してもらおうが、この内容をわかりやすく、パワーポイントで説明するのが良いと思う。 |